

ふれあい
ネット

藤 薫

◇第3号◇

平成24年2月

□ 企画編集：普及啓発委員会 □

「私たちの職場」会員の活躍

きすみれ・健康運動室

健康づくりの

一翼を担って

「ランニングマシン・ピテックス」これは、健康づくり運動に役立つ運動器具の名前です。

現在・藤枝市の福祉センター「きすみれ・健康運動室」(平成十三年・岡部町当時開設)に、この器具が設置されて、市民の皆さんの健康増進に大活躍をしています。

このセンターには、シルバー人材センターの会員七名が、交代しながら常時三名の勤務体制で業務を担当し

ています。

ここには、いろいろな運動器具がありますが、歩く・走る・登ることの出来るランニングマシンが基本となっております。何時も利用者が多く、最も人気のある器具となっております。

ある時、中学生が遊び半分に走り出し、足を絡ませて飛ばされましたが、幸い怪我にはいた

りませんでした。管理している私たちにとっては、利用者の安全を第一に思っています。

利用する方の順番や室内の温度調整・器具のトラブル防止などに注意して、室内で安心して楽しく体力づくりが出来るように心掛けながら作業しています。この運動室の利用方法は、登録制になっていますが、現在千三百人以上の皆さんが登録して利用されています。

利用する時の登録は簡単ですが、登録料(一回百円)をいただいています。

岡部町から藤枝市になって、管理者が社会福祉協議会となりシルバー会員が担当する業務内容も拡大され、このセンターの休日フロアー・夜間管理・きすみれの里デイサービス送迎車の運転業務などを行っています。

私たちシルバー会員・七人は、常に社協の職員とよく連携して「市民の健康に役立つ仕事の一翼を担っているんだ。」という誇りをもって、楽しくこの管理の仕事に携わっています。

岡部二班

班長 梶山 貞夫



◆ 親睦バス旅行 ◆

昇仙峡と石和温泉

大雨でも楽しかった

藤枝東 増田久美子

会員の皆さんが、一番楽しみにしていた親睦旅行。今年十一月十六日（土）に、山梨県・昇仙峡と石和温泉への旅でした。

この日、東海地方に低気圧が発達しながら近づくという予報でしたが、その予報どおりの悪天候・風雨の中のバス旅行となりました。

参加した会員・職員は、合わせて約百三十名、バス四台に分乗して出掛けました。

最初の目的地・昇仙峡では、運よく小雨になり今が盛りの紅葉を見ながら、水量を増した落差三十メートルの仙峨瀧など峡谷沿いの散策、また、円覚禪師が平らな四角の石の上で修業したと伝えられる円覚峰が高くそびえ立つ岩山、雨に煙っていました。

そして、石和温泉での懇親昼食会は、外が雨だったので、大

変盛り上がり・カラオケ・気持ちのよい入浴など、楽しく愉快な一時を過ごし、その後、ぶどう園にも立ち寄り帰途につきました。

普段逢う事の出来ない会員がお互いに交流するこのバス旅行は、シルバーで働く仲間のパワーが伝わり、私も「頑張ろう」という気力が湧いてきました。

いつものことながら、事務局の皆様には、お忙しい中をいろいろご配慮いただき、ありがとうございます。

来年も、皆さん大勢で楽しいバス旅行に参加しましょう。



☆☆ 私の仕事 ☆☆ 温泉 " ゆらく "

送迎バスの運転手

藤枝西 小島満昭

タクシー会社を定年退職してから、社会奉仕の気持ちで「何か役立つことがあれば」と思いシルバー人材センターの会員になりました。

会員になってから、駐車場の仕事やリサイクルセンターの分別作業など、いくつかの仕事をさせていただきましたが、現在のシャトルバスの運転手が一番長くなりました。平成十九年から約五年になります。

このバスは、「瀬戸谷温泉・ゆらく」を利用する皆さんのために、無料で送迎する専用のバス（二十八人乗り）です。

毎週の木曜日・土曜日に藤枝駅南口から「ゆらく」まで、次のように二便運行しています。

★一便 藤枝駅南口 《9:30》
駿河台郵便局前 《9:45》
学習センター 《10:10》
瀬戸谷温泉 ゆらく着 《10:30》

★二便 藤枝駅南口 《11:00》
直行 瀬戸谷温泉 ゆらく着 《11:30》

★木・土曜日以外の日でも、団体（十人位）で、ゆらくを利用するご希望であれば、送迎しています。

このバスを利用される方は、高齢の皆さんが多いのですが、「お風呂が気持ちよかった。」「バスが便利でいい。」と言う声を掛けられますと、走行中の安全運転は勿論のこと、利用される方の乗り降りに注意しながら、ハンドルを握る手にも力が入ります。

日々、働くことの喜びと感謝の気持ちをもって、これからも頑張りたいと思います。

藤枝西 澤本康逸

たかが猫だと思っていた。今から十七年前、長男が東京から連れて来た二匹のペルシヤ猫、純白で縫いぐるみかと思ふう牡のベレーザ（私はベルと呼んだ）牝のネロは流れるような優雅な毛並みの三毛で、こんな猫が今の世の中にいるんだ・・・と!!

ベルとネロの連れ添いは、東京や横浜のキャットショーでチャンピオン、グランドチャンピオン等の経験があったということの後、息子夫婦から送られてきた英字の血統書で知った。

家へ来て数年間、二匹の夫婦は数回、仔を産んだ。お産の度に私と母は、真夜中に時には朝まで付き合わされたものだ。一度に四、五匹の仔を産む、ベルが純白でネロが三毛なのに真つ黒や白、セピア色と様々な色合いの仔を産んだ。

三毛のネロは今まで見聞きした近隣の猫たちとは、違って産めば産んだままなので仔猫は、臍の緒が巻き付き窒息状態だった。私と母は、臍の緒の細い管をタコ糸で二か所縛りハサミで切り分けるなど、胎盤の処置もした。仔猫たちは、母親に舐め

られ、夜が明ける頃にはそのそのりと動き始めていた。

その数匹の仔猫の中に、左側の犬歯が異常に長く食み出し醜い顔のセピア色の仔がいた。ペルシヤ猫の体毛色では、牝だけにしか出ないトイシエルという毛色であった。



ネロは、何回か仔を産み、その仔たちは地域の人たちに貰われていった。そして十数年後にネロは死に、その一年後にベルも死んだ。奇形児として生れたセピアは誰にも貰われずに今も元気に私の元にいる。あの犬歯も抜けたので今では、やわらかい餌しか食べられないので口の回りはいつも汚い。しかし、かなりの高齢になっても美しい毛並みだけは健在である。昼夜の別なく泣くのは閉口するがそれも私には愛しく思える。

動く宝石といわれるペルシヤ猫は人に媚びない性質だが、やさしい表

情と大きな丸い目、コケティッシュな短く太い足、繊細で光沢のあるロングヘアーは見飽きることはない。

私の趣味

共に喜ぶ一枚の絵



岡部 梶山貞夫

十年以上前のことです。JA岡部農協にギャラリーが開設され、岡部ゑがく会の皆様と作品展を行いました。それを見に来られた岡部町入野のSさん（家内の知りあい）から電話で「私の家は、第二東名の工事で



玉露の里 瓢月亭 梶山貞夫

家を壊さなければならぬ、思い出しにしたいので私の家を描いて欲しい」という依頼がありました。

うまく描く自信もないが、ともかく家を見せていただくとうとSさん宅へ伺って驚いた。大きな家の裏にあるサクラが満開であった。こんな立派な家を壊すなんてと思いつながら、四、五回通い春と秋のSさん宅を入れた二枚の水彩画十号を描いて贈りました。Sさんには、大変喜んでいただき、こちらでも嬉しかったことを、今でも覚えています。贈りました絵はその後、村良へ新築されたSさん宅の玄関などに飾られ、今でも深いお付き合いをさせていただいております。

私が絵を好きになったのは、Wさんのおかげとと思っています。Wさんとは以前、二人でよく葉梨や焼津へ描きに出かけました。Wさんは自分も絵が上手なのに私の絵をよく褒めてくれました。褒められると嬉しくてまた描きに行くのです。外で描いていると「いい趣味ですね」などと声をかけられる。その声に励まされて描き続けているのです。



